

鉄骨二次部材の市場動向

前年度並みの需要を見込む

加工業者はフル操業が継続

ここ2、3年で母屋・胴縁などの鉄骨二次部材（付帯鉄骨）を取り巻く市場環境が様変わりした。昨年度は鉄骨需要が541万トまで回復し、ファブリケーターのみならず、母屋・胴縁といった鉄骨二次部材の外販加工業者もフル操業状態が続いている。そのため、太陽光発電システム用の架台も含め、各社とも今年度の受注量は前年度並みかそれ以上を見込む。本特集ではこうした状況を踏まえ、繁忙感が強まっている鉄骨二次部材加工の分野に焦点を当て、直近の鉄骨需要とそれを反映した鉄骨二次部材市場の動向や、鉄骨二次部材加工に携わる各社の景況感をまとめた。また、各地で活躍する鉄骨二次部材加工業者を紹介する。

企業紹介①

小ロット・短納期にも対応 石崎ボルト(新潟県)

石崎ボルト

(本社・新潟
県新潟市、石
崎寿章社長)

は、鉄骨加工
にともなう梁
・柱以外の母
屋・胴縁、ア
ングル、チャ
ンネル、スプ
ライス・H形
鋼など鉄骨二

に、そして機敏にお客様に
対応できる企業をめざして

いる。ボルトなどの建設用
金属製品の製造および販売
からスタートし、現在の本
社・工場に移転した際、二
次製品の加工を開始。順次、
加工設備の新設・拡充を实
施し、現在では梁・柱以外
の鉄骨二次部材すべてを自
社工場で加工できる体制ま
で整備。このほかアンカー
施工、スタッド施工も、社
員が責任施工で取り扱って

次部材加工のほか、丸鋼の
JIS製品や高力ボルトな
どの販売も手がけている。
本社工場のほか第3工場と
長岡工場の3工場体制で対
応している。

計で月間500〜800ト。
同社では「手間のかかる
仕事は弊社で、儲かる仕事
は御社で」をモットーに、
小ロット、短納期にも対応
できる体制を整えている。

同社は、社員全員が柔軟

データファイル

- ▷創業 1974年1月
- ▷代表取締役 石崎 寿章
- ▷従業員数 49名
- ▷本社・工場 新潟県新潟市北区大谷内1672-12
TEL 025・259・8511、FAX 025・259・8516
- ▷第3工場 新潟県新潟市北区大谷内378-26
TEL 025・278・2552、FAX 025・278・2553
- ▷長岡営業所 新潟県長岡市東高見2-32
TEL 0258・24・8514、FAX 0258・24・8519
- ▷事業内容 JIS耐震ブレース、JISアンカーボルトの製造、高力ボルト、各種ボルトの販売、アングル、チャンネル、軽ミゾ・H形鋼など鉄骨二次部材加工など
- ▷年間加工能力 約8000ト
- ▷主要鋼材仕入先 メタルワン建材・阪和興業・伊藤忠丸紅テクノスチール・小野建など
- ▷主な加工設備 BW6台、UWF1台、CBF400W1台、ショットプラスト2台、孔あけ切断複合機7台、バンドソー3台、タレットパンチプレス1台など

企業紹介③

キックオフから参加 カナヤマ(富山県)

カナヤマ

(富山県魚津
市吉野709
-10、星山守
代表)は、胴
縁・母屋の施
工図専門会社
「Proカナ
ヤマ」(Pr
oは、プログ
レッシブル、

この一貫体制は、ファブ
から提供された図面ではな
く、ファブの協力会社とし

てキックオフ時から参加、
図面から作成し、製品を現
場搬入するというものだ。
これによつて、ファブの付
帯工事に対する人的負担の
解消と高品質が実現し、客
先の高い評価を得ている。
また、同社は業界でもト
ップクラスの企業規模を持
つが、これに安住すること
なく、胴縁・母屋に対する

味)を今年4月に設立し、
図面対応力を一層強化させ
た。これによつて、セール
スポイントの一つである
「キックオフから現場搬入
まで」の一貫体制がさらに
充実したといえる。
実現することが期待される。

データファイル

- ▷創業 1967年1月
- ▷代表取締役 星山 守
- ▷従業員数 80名
- ▷本社・工場 富山県魚津市吉野709-10
TEL 0765・24・1411、FAX 0765・24・7311
- ▷上越工場 新潟県上越市頸城区下吉77-7
TEL 025・531・1511、FAX 025・531・1510
- ▷事業内容 胴縁、母屋を中心とした鉄骨二次部材製作など
- ▷年間加工能力 1万2000ト
- ▷主要鋼材仕入先 阪和興業、中山通商、中央鋼材、三井物産鋼材販売、アイ・テック、岡谷鋼機、小野建、二幸機材、新金谷など
- ▷主な加工設備 C形鋼専用加工機3台、角パイプ専用加工機2台、複合機(角パイプ、チャンネル、H形鋼)2台、ビームワーカー6台、胴縁ソフト18台など

鋼橋長ジャ-ル 9/29付